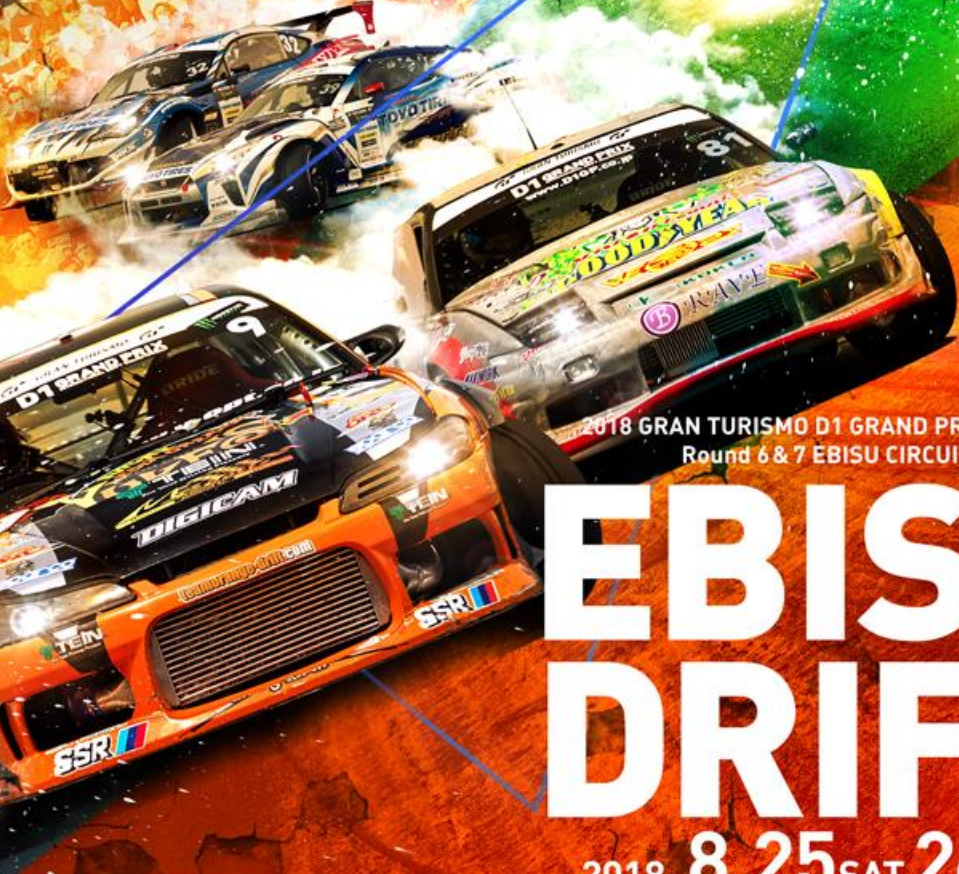


# D1

D1 GRAND PRIX  
INTERNATIONAL DRIFT CHAMPIONSHIP



2018 GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES  
Round 6 & 7 EBISU CIRCUIT

# EBISU DRIFT

2018. 8.25 SAT 26 SUN

# 開催報告書



8月25日（土）・8月26日（日）の2日間、福島県のエビスサーキットにて  
2018 GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.6&Rd.7を開催致  
しました。

今年のエビス大会は晴れたり雨だったりを繰り返す荒れた天候での実施となりました。  
無事にイベントを終えることが出来、みなさまの多大なるご協力に感謝致します。  
今後ともご支援ご協力のほど、宜しくお願い致します。

イベント名称	2018 EBISU DRIFT	
開催日時	2018年8月25日（土）8：00～19：00 2018年8月26日（日）8：00～17：00	
開催場所	福島県・エビスサーキット	
競技会名称	2018 GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.6 2018 GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.7	
競技会格式	JAF公認準国内格式競技	
出演	実況：鈴木学                      MC：辻直樹 イメージガール：D-LOVEits 市川愛/NRK the Hedgehog	
主催	株式会社サンプロス/エビスサーキット	
公式来場者数	8月24日（金）	155名
	8月25日（土）	3,436名
	8月26日（日）	3,926名
	3日間合計	7,517名



## GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.6 単走競技

昨年同様、最終コーナーでは角度も重要で、浅い角度で出てくるとストレートに向けてのスピードはのるが、得点は伸びない。いっぽう角度をつけすぎると、そのあとのストレートで振られてしまって減点されるため、バランスが重要になる。そしてストレートではスムーズにドリフトをつなげるのではなく、1コーナーに向けて一気に角度をつけることが求められる。

競技本番はドライ路面だったが、練習走行がウエット路面だった影響でDOSSが甘めの設定だったため、高得点が連発した。内海は2本とも100点オーバーを叩き出したが、末永(正)は2本目に高い車速と鋭い振りで内海を上回る得点をマークし、最高得点で予選を通過した。

決勝日も朝のチェック走行はウエット路面だったが、競技本番にはドライ路面に変わっていた。

まず、上野がリズムよく安定した走りを見せて最初に98点台を出した。しかし、内海がスピードとキレのある振りで99.08点を獲得すると、松井が最終コーナーでの大きな角度や、1コーナーに向けての鋭い振りで99.46点を叩き出し、トップに立つ。



振り出しの鋭さが足りなかった横井、最終コーナーでの角度が不十分だった藤野は、松井の点に及ばず、単走4連勝中の川畑の出走順となる。川畑は最高速こそ120.7km/hの横井、117.9km/hの松井らに及ばない115.0km/hだったものの、ドリフトスピードが非常に高く、最終コーナーの角度でも得点を稼ぎ、99.66点をマーク。単走優勝を決めた。



## 単走決勝 結果

Pos.	No.	Driver	Car	Score	Pos.	No.	Driver	Car	Score
1	35	川畑 真人	R35	99.66	9	52	北岡 裕輔	JZX100	99.48
2	7	松井 有紀夫	FD3S	99.46	10	4	小橋 正典	S15	98.55
3	9	末永 直登	S15	99.34	11	2	田中 省己	S15	98.36
4	70	横井 昌志	S15	99.13	12	92	高橋 邦明	GRX130	97.73
5	6	内海 彰乃	S15	99.08	13	99	松川 和也	AE85	97.51
6	38	末永 正雄	R35	98.64	14	14	村山 憐啓	S14	97.44
7	79	上野 高広	JZZ30	98.22	15	84	Charles Ng	RPS13	97.39
8	66	藤野 秀之	RPS13	98.16	16	16	山口 孝二	S15	97.20

▲ 追走決勝トーナメント進出(1本目上位8名) ▲

▲ 追走決勝トーナメント進出(2本目上位8名) ▲



## GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.6 追走競技

追走からは雨が降ったり止んだりという難しいコンディションになり、スピンや接触も相次いだ。そのなかでランキング3位の藤野は北岡に接触されたあと、ドライブシャフトの交換が間に合わずベスト16で敗退。ランキング2位の川畑は後追い時に北岡に接触し、リズムを崩してベスト8で敗退した。

ベスト4に勝ち上がったのは北岡、横井、小橋、末永（直）。まずは北岡vs横井、D1ストリートリーガルの元チャンピオン対決となったが、1本目に先行の北岡のリヤが滑りすぎてクラッシュ。2本目はリタイヤとなって横井が勝った。



次の対戦はチームメイト対決となる小橋vs末永(直)。まずは先行の小橋が末永(直)を寄せつけないスピードで逃げきるかに見えたが、3コーナーで単独スピン。しかし、このとき末永(直)の右リヤタイヤがビード落ちしていることが判明し、ルールによって小橋が勝利。末永(直)はこの大会ノーポイントとなってしまった。なお、3位決定戦は北岡走行不能、末永(直)出走不可のため、行われなかった。



決勝は横井vs小橋。1本目後追いの小橋は横井を捕らえきれないものの、横井が最終コーナーでインカットしていたため、小橋にアドバンテージがつく。2本目は小橋が先行。横井はビタビタの接近ドリフトを見せたが3コーナーで小橋を押してしまい、小橋の勝ちが決まった。





## GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.7 単走競技

この第7戦終了時点でのポイントランキング上位24名だけが最終戦に出走できることもあり、ボーダー近辺の選手にとっては重要な予選だ。ランキング23位にいた野村は、得点が伸びなかったものの、同グループの森田はマシンが仕上がっていなかったためドリフトできず、淵上はストレートでの振られによる減点が響いて得点が伸びず、かろうじて予選通過を果たした。

ほかのグループも同様に、ストレートでの振られや、コースはみ出しによる減点で得点を落とした選手が予選不通過となるケースが多かった。そんな中、内海は前日同様に高い車速と大きな角度をつけて99.67点を獲得。最高得点での通過を決めた。



単走決勝もドライコンディションで行われた。採点方法や設定は前日と同じだが、選手も走り慣れてきたせいも、得点は前日よりも上がってきた。



内海は最終コーナーの角度で点を稼ぎ、98.45点と村山を上まわったが、次に走行した松井が高い車速と大きな角度、さらに審査席前の姿勢の安定性もよく、100.21点を叩き出してトップに立った。

そのあとは、末永（正）、北岡、藤野らがいい走りを見せるも98点台にとどまる。そして横井は松井の最高速119.1km/hを上まわる120.7km/hを記録したが、99.84点と、松井は超えられない。

しかし、最後に単走5連勝中の川畑が登場。川畑は最高速でも横井を上まわる121.2km/hを記録。最終コーナーは速度で、1コーナー進入では強烈な角度で得点を稼ぎ、そこで角度をつけすぎたせいで1コーナーの奥で姿勢が乱れる場面もあったが、それでも深い角度で押し切って減点をカバーし、3コーナーのあとの振り返し、そして最後の右コーナーの角度で点を稼いで100.37点を獲得。単走6連勝を決め、同時に単走シリーズチャンピオンも決めてしまった。



## 単走決勝結果

Pos.	No.	Driver	Car	Score	Pos.	No.	Driver	Car	Score
1	35	川畑 真人	R35	100.37	9	2	田中 省己	S15	99.48
2	7	松井 有紀夫	FD3S	100.21	10	45	畑中 真吾	JZX100	98.44
3	70	横井 昌志	S15	99.84	11	36	高橋 和己	JZX100	98.34
4	66	藤野 秀之	RPS13	98.65	12	32	Pond	ZN6	98.30
5	6	内海 彰乃	S15	98.45	13	4	小橋 正典	S15	98.21
6	52	北岡 裕輔	JZX100	98.38	14	9	末永 直登	S15	98.19
7	39	末永 正雄	R35	98.34	15	46	金田 義健	S15	98.12
8	14	村山 健啓	S14	98.34	16	16	山口 孝二	S15	97.97

▲ 追走決勝トーナメント進出(1本目上位8名) ▲

▲ 追走決勝トーナメント進出(2本目上位8名) ▲



## GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.7 追走競技

ベスト8では、川畑が田中(省)と、藤野は内海と対戦。それぞれ再戦にもつれる激戦となったが、田中(省)、内海ともにストレートでのドリフトの戻りがひびいて敗退した。

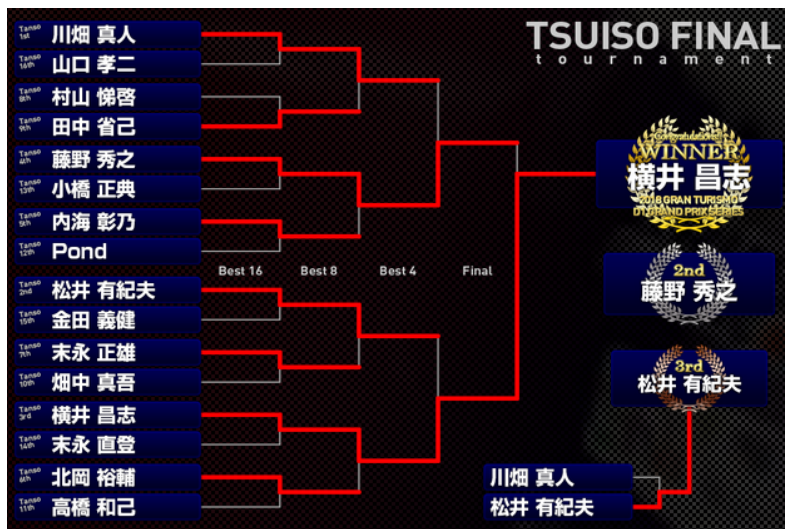
ベスト4に勝ち上がったのは、川畑、藤野、松井、横井。まずは川畑と藤野が対戦した。川畑先行時は川畑が2カ所でコースはみ出しをしたこともあって藤野に大きくアドバンテージがつく。2本目は川畑が終始ビタビタの超接近ドリフトを見せてアドバンテージをとったが、逆転には至らず藤野が勝った。

また松井vs横井は松井が先行時に最終コーナーでインカット。2本目も松井はリズムを崩して横井が勝った。なお3位決定戦は松井が川畑に勝った。



決勝は藤野vs横井。横井はすでにタイトル争いでも有利な状況になっているが、藤野としてはここで勝ってポイント差を縮めたいところだ。

1本目は藤野が先行。3位決定戦の前から雨が降りだし、路面は滑りやすくなっていた。横井は最終コーナーから藤野を捕らえて出てきたが、審査席前のゼブラで滑り、スピンをしてコースアウト。藤野に大きなアドバンテージがつく。2本目、藤野は横井を捕らえられなかったものの、大きなミスなく走りきり、藤野の勝ちかと思われた。しかし、このとき藤野のリヤタイヤはビード落ちを起こしていた。それにより優勝は横井に。そして藤野はこの大会がノーポイントとなり、横井はシリーズチャンピオン獲得に向けて、大きく前進した。





# イベント風景

# EBISU DRIFT

2日間とも荒れた天候の中で行われた今大会。しかし、土曜日の夏祭り時間帯には天候も回復し、各所でファンサービスを行うことが出来ました。日曜日にはゲートグリーティングを行い、ハイタッチをしながら皆様をお出迎えしました。





## オフィシャルHP動画広告

## ポスター & チラシ



## Facebook

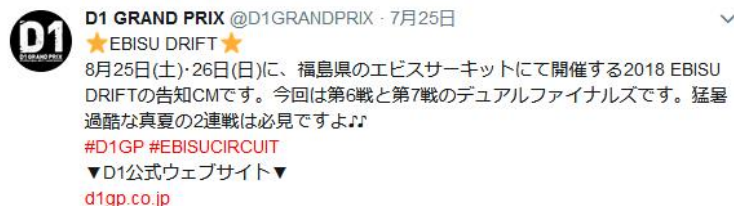


投稿のパフォーマンス	
再生時間	5,331
動画の3秒再生数	11,945
動画の10秒再生数	5,588
動画の平均再生時間	0:07
オーディエンスリテンション	
視聴者とエンゲージメント	

## プレスリリース 8/14



## Twitter



ドリフト競技の最高峰 D1 GRAND PRIX 2018 シリーズは、シーズン6戦目、7戦目となる『2018 EBISU DRIFT』を 8月25日(土) 26日(日)、エビスサーキット(福島県二本松市沢田1番地)にて行います。

『2018 EBISU DRIFT』は、エビスサーキットの最終コーナーをドリフトしながらやジャンプ気味に飛び出し、ホームストレートでドリフトの角度を調整して2コーナーから3コーナーを通過したのち、4コーナーへ向け鋭角にドリフトの角度を調整してフィジカルなコース設定で行われます。スピリットリレーでの最終コーナーリングが要求されるコースレイアウトは、ドライバーに高いテクニックが要求される大会となります。

結果 『2018 TSUKUBA DRIFT』、準優勝は、川崎真人(TOYO TIRES GLION TRUST RACING)が、99.22点を獲得し、第2戦からの準冠4連勝を飾りました。追いつき、第1戦と第2戦(Team PFC)で争ったが、川崎、本谷直貴(YUKES Team ORANGE)ら強豪選手を制しての勝利を挙げました。結果の多い大会となりました。

その結果、現在のシリーズランキングは、本谷が99ポイントで首位に立ち、川崎が1ポイント差の98ポイントでランキング2位。そして、藤村 亮之(Team TOYO TIRES DRIFT WESTERIA)が95ポイントで3位、後者が90ポイントで4位と争奪戦の様相を呈しています。最終戦を待つところとなる今大会、シリーズの行方が見えてくる大切なラウンドとなりますので、ご注目ください。

また、今大会は毎年恒例の「夏祭り」を 25日(土)の17:00から行います。会場では、レースクイーンチームから浴衣を着替え参加する「GAL ON! 浴衣コンテスト」や、D1選手自らが焼きたてお菓子の販売に挑戦する「ピザ大勝負」や、そして毎年恒例の「大輪 打ち上げ花火」で「夏祭り」を盛り上げます。

また、D1 オフィシャルイメージガール『D-LOVES (ディーラブズ)』も新たなコスプレで会場を盛り上げます。

Press Information of 2018 EBISU DRIFT



テレビCM各放送局  
8/10～8/25  
宮城県、福島県、新潟県、山形県



今年度より実施しておりますYou Tubeは面倒な登録がなく、気軽に見ることができることから、幅広い方に利用しやすくなりました。You Tubeライブでは企業CMを入れたり、御社の商品を紹介することも可能です。ぜひともご活用下さい。

	予選日	決勝日
総再生時間	755,927	569,441
最大同時接続者	3,318	3,372
平均視聴時間	20分	20分
視聴回数	63,902	39,063
高評価数	414	487
総視聴国	81ヶ国	83ヶ国
チャットメッセージ	7,434	8,147
性別		
男性	95%	96%
女性	5%	4%
年齢		
13～17	6%	7%
18～24	16%	16%
25～34	27%	27%
35～44	30%	30%
45～54	18%	17%
55～64	3%	3%

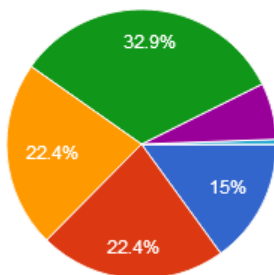


# 来場者アンケート

# EBISU DRIFT

## 年齢

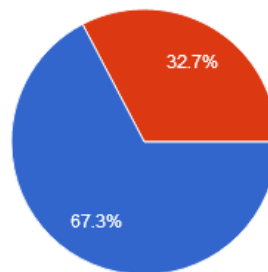
353 件の回答



## 性別

358 件の回答

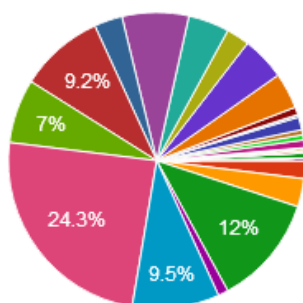
- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代



- 男
- 女

## 本日はどこから来ましたか？

358 件の回答



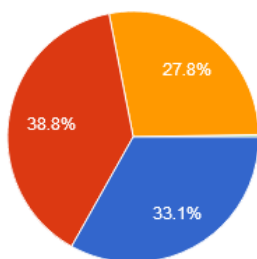
- 北海道
- 青森
- 岩手
- 宮城
- 秋田
- 山形
- 福島
- 茨城

▲ 1/6 ▼

福島	87	東京	9
宮城	43	青森	7
山形	34	秋田	4
栃木	33	愛知	3
埼玉	26	富山	3
茨城	25	岐阜	2
神奈川	17	山口	2
千葉	16	静岡	2
新潟	14	岡山	1
岩手	11	奈良	1
群馬	11	山梨	1
		海外	1

## 来場日

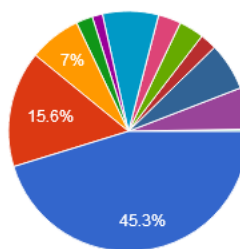
356 件の回答



- 8月25日 (土)
- 8月26日 (日)
- 両日

## ご職業

回答

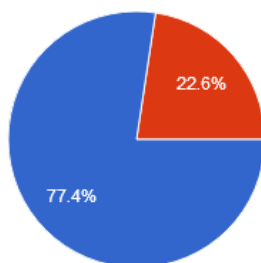


- 会社員 (技術系)
- 会社員 (事務系)
- 公務員
- 自営業
- 会社役員
- 主婦
- フリーター・自由業
- 大学・短大生

▲ 1/2 ▼

## 過去のD1GPを観戦したことがありますか？

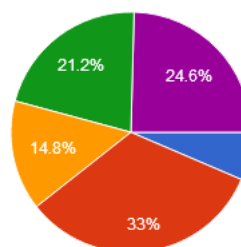
358 件の回答



- はい
- 今回が初めて

## あなたは年間何回来場しますか？

58 件の回答



- 毎大会
- 1回
- 2回
- 3回
- 今回が初めて

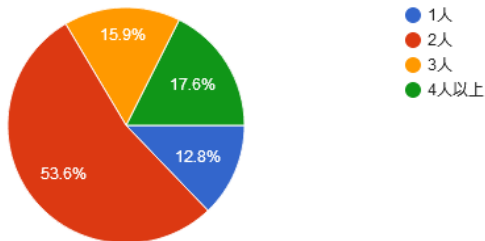


# 来場者アンケート

# EBISU DRIFT

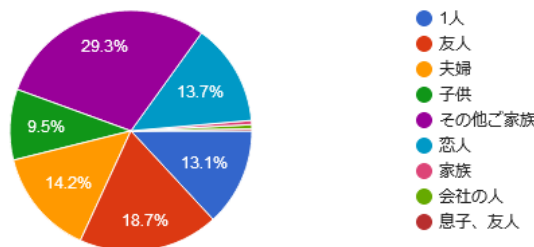
## 今回は何人で来場しましたか？

358 件の回答



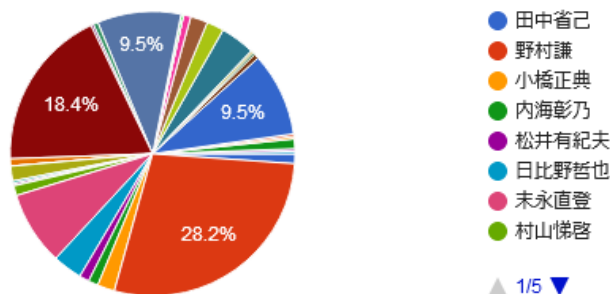
## どなたと来ましたか？

358 件の回答



## D1GPに参戦しているドライバーの中から好きなドライバーの名前を選んで下さい

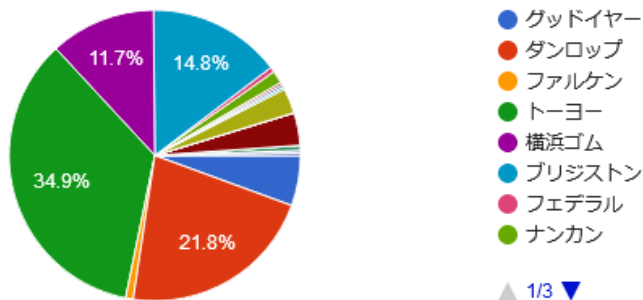
358 件の回答



野村謙	101	PON	3
川畑真人	66	北岡裕輔	3
斉藤太吾	35	チャールズ	2
末永正雄	34	深田真弘	2
末永直登	30	唄和也	1
横井昌志	14	岩井照宜	1
日比野哲也	12	高橋邦明	1
今村陽一	7	高橋和巳	1
小橋正典	7	松川和也	1
藤野秀之	7	村上満	1
時田雅義	6	畑中真吾	1
上野高広	5	木口健治	1
松井有紀夫	4		
村山悌啓	4		
田中省己	4		
内海彰乃	4		

## 好きなタイヤメーカーの名前を教えてください

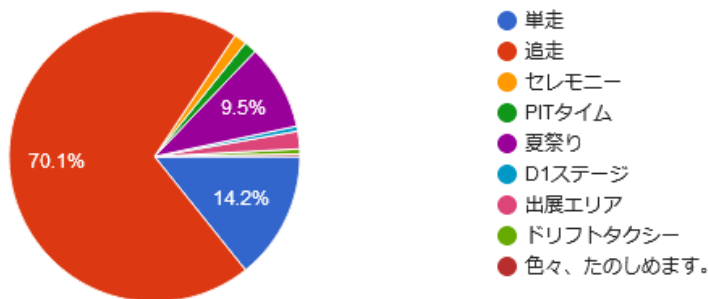
358 件の回答



トーヨー	125
ダンロップ	78
ブリジストン	53
横浜ゴム	42
グッドイヤー	20
ゼスティノ	13
ミシュラン	10
ナンカン	5
ファルケン	3
フェデラル	2
ワンリ	2
アキレス	1
ケンダ	1
ニッター	1
わからない	2

## あなたが一番気に入ったものは何でしたか？

358 件の回答





2020年オリンピックイヤーに20周年を迎える「D1 GRAND PRIX」



三栄書房グループ  
株式会社サンプロス D1 事業部  
東京都新宿区新宿6-27-30 新宿EAST SIDE SQUARE 7階

SUNPROS Co.,Ltd.  
Shinjuku-Eastside-Square 7F, 6-27-30,Shinjyuku-Ku,Tokyo 160-0022 Japan  
P. (+81) 03-5287-2939 [www.D1GP.co.jp](http://www.D1GP.co.jp)